



江藤玲子氏略歴

昭和4年東京に生まれました。俊哉氏の妹、シンクル二位に入賞。23年東京音楽学校本願・シロタ、レオニード・クロイツァに師事。ウラジミール・ソコロフ、室内楽をジョセフ・パールに学んだ。34年同院を卒業し、ピアノ専攻に命されたが、ビザの関係で帰国した。兄と共演演奏旅行して好評を得、東京フィルハーモニー団、東京交響楽団などと共演した。以後ラヴィンにも出演、今日に至る。

江藤玲子さんのこと

江藤玲子さんが、故レオニード・クロイツァに師事されたのは、上野の音楽学校（現在の芸大）の三年の時、二年だったと思います。

玲子さんという私は先ず玲子さんの音楽学校のスペシャルクラス時代を思い出します。当時、学校では、古典近代の各数曲の演奏の鍵盤ハーモニー、そして聴音についてのクロイツァ自身のテストに合格した生徒達のスペンというのがありました。玲子さんもこのテストに合格されその素晴らしい才能をみとめられクロイツァの生徒となりました。玲子さんはその頃からすでに、非常に音楽的把握力を持っていらっしゃって、先生の高度な音楽的要求にすぐに対応が出来る、それがどちらかといえば感覚的な受けとり方でない、がっしりとシユアでファンデーションをしっかりとついていたタイプの方でした。

当時の玲子さんは無口でいらっしゃって、こちらから話しかけるのに対して返事をなさる程度で、特に意見のきいた大笑いなどということは記憶にありません。そんなふうなので「ヴェリー・グッド」とほめられなさるとうれしそうにして少し笑います。クロイツァもやはりそんなふう感じたのでしょうか、時々私に玲子さんのことについて「さあ、ああ言ってくれ、そしてどうした」と聞かれたり頼まれたりしました。

クロイツァのレッスンのきびしいことは定評がありましたが、その半面よく冗談を言って皆を笑わせました。玲子さんが歯をちらっとみせて声もたてずに笑う顔は独特なところがありました。

クロイツァが亡くなってからしばらくしてアメリカにいらっしゃって、昨年数年ぶりで帰国なさいましたが、今もつめて、ゆっくり昔ばなしに花を咲かせたいと思っています。

江藤玲子ピアノ

PROGRAM

- 1. 第一長調 (トルコ行進曲)
- 2. 嬰ハ短調 (月光)
- 3. 子守歌
- 4. 踊る円舞曲
- 5. 子守歌
- 6. 第一番ト短調
- 7. 踊る円舞曲
- 8. 狂詩曲第二番
- 9. ティータ No.1 変口長調
- 10. 三つの楽典の時
- 11. OP94の3
- 12. 第一集
- 13. 影
- 14. 第一集
- 15. 第一集
- 16. 第一集
- 17. 第一集
- 18. 第一集
- 19. 第一集
- 20. 第一集
- 21. 第一集
- 22. 第一集
- 23. 第一集
- 24. 第一集
- 25. 第一集
- 26. 第一集
- 27. 第一集
- 28. 第一集
- 29. 第一集
- 30. 第一集
- 31. 第一集
- 32. 第一集
- 33. 第一集
- 34. 第一集
- 35. 第一集
- 36. 第一集
- 37. 第一集
- 38. 第一集
- 39. 第一集
- 40. 第一集
- 41. 第一集
- 42. 第一集
- 43. 第一集
- 44. 第一集
- 45. 第一集
- 46. 第一集
- 47. 第一集
- 48. 第一集
- 49. 第一集
- 50. 第一集
- 51. 第一集
- 52. 第一集
- 53. 第一集
- 54. 第一集
- 55. 第一集
- 56. 第一集
- 57. 第一集
- 58. 第一集
- 59. 第一集
- 60. 第一集
- 61. 第一集
- 62. 第一集
- 63. 第一集
- 64. 第一集
- 65. 第一集
- 66. 第一集
- 67. 第一集
- 68. 第一集
- 69. 第一集
- 70. 第一集
- 71. 第一集
- 72. 第一集
- 73. 第一集
- 74. 第一集
- 75. 第一集
- 76. 第一集
- 77. 第一集
- 78. 第一集
- 79. 第一集
- 80. 第一集
- 81. 第一集
- 82. 第一集
- 83. 第一集
- 84. 第一集
- 85. 第一集
- 86. 第一集
- 87. 第一集
- 88. 第一集
- 89. 第一集
- 90. 第一集
- 91. 第一集
- 92. 第一集
- 93. 第一集
- 94. 第一集
- 95. 第一集
- 96. 第一集
- 97. 第一集
- 98. 第一集
- 99. 第一集
- 100. 第一集